

文献情報									
表題・資料名									
粒度特性を考慮した非特定汚濁物の流出管理に関する研究 - 雨水滞水池を例として -									
部会	G1	文献ID	R0051	観測ID	S001	公表年	1993		
著者名									
市木 敦之, 山田 淳									
収録雑誌名									
環境システム研究論文集									
巻号	21	ページ	436-444						
分類と目的									
都市		農地		林地		流域		その他	
目的									
降雨時の出水初期に集中して流出する汚濁物を、雨水滞水池で一時的に貯留して懸濁成分を沈降除去する方策を考え、沈降を支配する懸濁性物質の粒度特性の把握に重点を置き降雨時の汚濁物質調査を実施した結果を用いて、雨水滞水池による流出負荷削減率の推定を試みた									
コメント・特記事項									
地点情報と流域情報									
地名									
都道府県	滋賀県	標高(m)		水系	伊佐々川				
経度		緯度							
形状係数		平均勾配		流域面積(ha)	393	流路延長(km)		河川次数	
土地利用情報									
都市	都市35%、それ以外65%								
農地									
林地									
その他									
時期と調査方法									
観測期間	92年の10月と11月に計6回行われている。								
観測開始日	1992/10/01								
観測終了日	1992/11/01								
水質観測頻度	流出前半、水質急変時は10分間隔、流出後半の流量逓減期は水位の下降に合わせて適宜10分から1時間とした。								
採水頻度	流出前半、水質急変時は10分間隔、流出後半の流量逓減期は水位の下降に合わせて適宜10分から1時間とした。								
流量観測頻度	10分間隔								
採水方法			流域観測方法						
実測値		マニユアル							
観測値(第三者提供)		自動採水器							
モデル等推測値		その他							
その他									
降雨時調査									
調査実施									
観測イベント	7	9~26日							
最小雨量(mm)	0.5								
最大雨量(mm)	26								
気象情報									
実測		方法	転倒マス型自記雨量計により	場所	伊佐々川流域内(詳細は不明)	アメダス地点			
観測値の利用		提供機関		観測地点		アメダス地点			
モデル等推測		モデル名		コメント					
その他									
対象物質									
N		P		有機物	その他				
全窒素(TN)		全リン		T-COD(Mn)	SS				
溶存態窒素(DN)		溶存態リン		D-COD(Mn)	濁度				
硝酸		リン酸態リン		TOC	重金属				
亜硝酸									
アンモニア									
その他		その他		その他	その他				

文献情報			
表題・資料名			
粒度特性を考慮した非特定汚濁物の流出管理に関する研究 - 雨水滞水池を例として -			
部会	G1	文献ID	R0051
観測ID	S001	公表年	1993
著者名			
市木 敦之, 山田 淳			
収録雑誌名			
環境システム研究論文集			
巻号	21	ページ	436-444
原単位			
窒素-数値		単位	
原単位の求め方			
リン-数値		単位	
原単位の求め方			
有機物-数値		単位	
原単位の求め方			
TOC-数値		単位	
原単位の求め方			
SS-数値		単位	
原単位の求め方			
その他-数値		単位	
原単位の求め方			
その他・備考・コメント			
原単位としての記載はなく、水質濃度としての記載のみ			

日本環境学会 (2013) 非特定汚染源からの流出負荷量の推計手法に関する研究
注：データを引用する際には必ず元文献をご確認ください。